

市町村名		座間味村				
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】						
事業名	座間味村救急対応車両整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(3)-(ウ) 県民ニーズに即した保健医療 サービスの推進	
担当部課名	総務・福祉課	事業実施 年度	平成 29	~ 平成 29	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所 III-9
事業内容	救急対応車両を導入することで、地域住民や観光客の安全性の確保を図る。					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )					
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		H29年度				合計
	A. 予算現額	6,008				6,008
	B. 執行済額	6,007				6,007
	うち 交付金充当額	4,805				4,805
	執行率(%) (B/A)	100.0%				100.0%
執行状況の説明	当初の計画通りに執行できた。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
			H29年度			
	救急対応車両の導入	目標	1台			
		実績	1台			
		目標				
		実績				
	目標					
	実績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
			H29年度			
	救急対応車両の導入完了	目標	導入			
		実績	導入完了			
		目標				
		実績				
	目標					
	実績					

**事業完了後の取り組み**

事業完了後の成果目標	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況					H30年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	搬送された本人や家族、付添い人に対して、安全性が確保されていたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	目標					80%以上
		実績					未実施
	【参考指標】 使用者調査で「安全性が確保されている」(80%以上)	目標					80%以上
		実績					100%
状況説明	【H30年度】 ・県外からの観光客や重症者搬送も多くアンケートを取れる状況になかったため、当該車両での搬送に関わった消防団員に聞き取りを行った。 消防団員(当該車両使用地域)の聞き取りでは、搬送業務従事者全員が「安全性が確保されている(向上した)」とした。  【 年度】 ・  【 年度】 ・						

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
【H30年度】 ・可倒式架台付きストレッチャーにより、傷病者の安全性と乗り心地向上のみならず消防団員が搬送しやすくなり、警光灯とサイレン装備のため夜間走行の安全性も格段に向上した。  【 年度】 ・  【 年度】 ・	【H30年度】 ・新人消防団員も含め、全員が運転と搬送を円滑に行えるよう訓練が必要である。  【 年度】 ・  【 年度】 ・

**今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)**

【H30年度】 ・重症者などの搬送を想定した消防団員訓練を、診療所医師、看護師と連携して行っていく。  【 年度】 ・  【 年度】 ・
---

市町村名	座間味村					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】						
事業名	IP防災戸別受信機設置事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-(イ) 災害に強い県土づくりと 防災体制の強化
担当部課名	総務・福祉課	事業実施 年度	平成 29	~ 平成 29	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所 Ⅲ-9
事業内容	防災無線の放送が聴こえない世帯を対象に戸別受信機を整備することで、災害時における情報伝達手段を確保し、村民及び観光客の安全確保を図る。					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )					
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H29年度				合計
	A. 予算現額	13,575				13,575
	B. 執行済額	11,772				11,772
	うち 交付金充当額	9,417				9,417
	執行率(%) (B/A)	86.7%				86.7%
執行状況の説明	不要額1,803千円は当初設置予定台数を下回ったことによる残である。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
		H29年度				
	戸別受信機の設置	目標	50台			
		実績	37台			
		目標				
		実績				
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
		H29年度				
	戸別受信機の設置完了	目標	完了			
		実績	完了			
		目標				
		実績				
	目標					
	実績					

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況					
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果						H30年度 目標/発現年度	
	防災訓練を実施し、村全域において、放送・配信が確実に伝達されたか(100%)を、村民及び観光客等に対するアンケートにより確認し、本事業のあり方を検証する。		目標					100%
			実績					100%
			目標					
実績								
状況説明	<p>【H30年度】            ・平成30年11月の避難訓練に参加できなかった対象者が多かったため、戸別受信機を設置した37世帯に聞き取りを行い、全世帯の受信が確認できた。</p> <p>【 年度】            ・</p> <p>【 年度】            ・</p>							
<b>【完了後】事業効果等の確認</b> (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			<b>【完了後】改善措置等の検討</b> (事業効果の更なる向上等)					
<p>【H30年度】            ・「放送が聞こえない」世帯(施設)37カ所について設置したことにより、設置全世帯で「家の中にいて聞こえる」「内容がよくわかる」との回答を得た。</p> <p>【 年度】            ・</p> <p>【 年度】            ・</p>			<p>【H30年度】            ・村全域の安全確保のため、暴風時等も確実に受信しなくてはならない村幹部宅、座間味駐在所などにも戸別受信機を設置する必要がある。</p> <p>【R1年度】            ・新たに「年を取って聞こえがわるくなったので設置してほしい」という世帯があり、定期的な調査が必要である。</p> <p>【 年度】            ・</p>					
<b>今後の取り組み方針</b> (関連・同種事業へのフィードバック等)								
<p>【H30年度】            ・村長宅、駐在所、また避難所に利用される可能性のある公共施設等合計7カ所に村単費で戸別受信機を設置した。</p> <p>【R1~2年度】            ・高齢世帯の状況を把握している保健師との連携や、広報誌で希望を募るなどして、設置が必要と判断された世帯には適宜設置していく。</p>								